

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.28 R. 4. 1 2. 9 (金)
文責：山口伸一郎

「親子健康学習会」を実施しました。

2日(金)、第2回学校保健委員会を兼ねて、4～6年生及び保護者の方々を対象に、「親子健康学習会」を開催しました。今回は、佐世保市青少年教育センター主査の吉永 充紀様を講師にお招きし、『ゲーム依存の恐ろしさ』という演題でお話をさせていただきました。具体的には、「メディアの長時間使用による生活習慣の乱れと健康への影響」、「子どもたちに係る、SNSに関連した事件や被害の事例」、「メディアと上手に付き合うために大切なこと」等のことについて、主にお話させていただきました。スライドを使いながら、子ども目線でとてもわかりやすくお話いただき、子どもたちも最後まで集中して話を聞くことができました。



話の冒頭部分で、スクリーンに映し出されるゲームの名前やLINEを使用しているか否か等について、先生が子どもたちに問いかける場面がありました。ゲーム名に関する子どもたちの素早い反応やLINEを使用している子どもたちの数の多さから、子どもたちが日常的にメディアと深く関わっていることを、あらためて実感しました。

SNSはとても便利なコミュニケーションツールであると同時に、これからの社会においては、私たちにとって間違いなく欠かすことのできないものであると思います。だからこそ、今のうちから、その注意点や危険性についてもしっかりと学び、理解しておく必要があります。

今回の学習会で、私たち大人も子どもたちのメディア使用について、あらためて認識を深めることが大切であると感じました。スマホやSNSを使用することで事件に巻き込まれたり、健康を害したりすることのないように、「我が家のルール」というものを親子できちんと設定し、約束をしっかりと守ることをぜひ確認していただきたいと思います。

「学校保健委員会便り」に、「スマホ・ネットゲームを使える12の条件」という今回の講話の資料を掲載しています。ご家庭でもぜひお子さまと一緒に確認し、話題にさせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



「本物に触れる」貴重な機会に恵まれました。

11月30日(水) 2～3校時、佐世保市出身の落語家、三遊亭らっ好さんをお招きして「学校落語会」を開催しました。当日は、4～6年生が参加し、体育館のステージにマットと畳を重ね、高座の環境を整えて落語を披露していただきました。

子どもたちにとって、落語はあまり馴染みがない部分も多いということで、始めは緊張感が漂っていましたが、らっ好さんの軽妙な語り口にどんどん引き込まれ、途中からは大きな笑いに包まれ、とても楽しいひと時となりました。また、各学年から一人ずつ代表が舞台上上がり、麵をすすする仕草を教えていただく機会もあり、めったにできない経験ができたこともよかったです。話芸と身振り手振りによって情景を想像しながら、そのお話を楽しむ落語の世界。子どもたちにはとても新鮮で、先日の三味線の演奏同様に、本物に触れるとても貴重な機会となりました。

終了後、らっ好さんから「子どもたちがとても素直に反応してくれて、大変楽しく務めさせていただき、私も思い出になりました。」という感想をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。「本物に触れる機会」これからも大切にしていきたいと思います。

